

## 平成15年度第1回大台ヶ原自然再生検討会 森林生態系部会

◆日時 平成15年9月2日(火) 13:30~16:30

◆場所 奈良市「春日野荘」

◆出席者 検討委員/10名中9名出席

関係機関/近畿中国森林管理局三重森林管理署, 奈良県, 上北山村, 上北山村森林組合

環境省/亀澤近畿地区自然保護事務所長, 安部自然環境計画課課長補佐 他  
財団法人自然環境研究センター(事務局)

- ◆議事 (1) 第1回大台ヶ原自然再生検討会の内容について  
(2) 部会設置要領について  
(3) 平成15年度の調査・検討内容について  
1) 植生タイプ区分及び再生ポテンシャルについて  
2) 野生動物調査について  
3) これまでの対策等の評価分析と再生手法の検討について

◆議事概要 (会議は公開で行われた)

議事(1)

- 第1回大台ヶ原自然再生検討会の内容について環境省より説明。

議事(2)

- 部会設置要領(案)について事務局より説明し, 承認された。

議事(3)

- 資料に基づき, 平成15年度の調査・検討内容について, 事務局より説明。
- 委員からの主な指摘
  - ・ 植生区分及び再生ポテンシャルの評価のための調査に, 土壌・光・乾燥状況などの生育基盤調査, 大台ヶ原に生育する希少植物の調査及び酸性雨の影響調査を追加。
  - ・ 植性或動物(両生は虫類等)は, 9~12月の調査では十分なデータは得られない。
  - ・ ラス巻きつけ木の追跡調査は抽出調査でよいのではないか。
  - ・ 防鹿柵設置を漫然と続けるのは疑問。鋼製より簡易なものもあり, 新しい手法も含めて構造, 形状, 材質等を幅広く検討すべき。
- 具体的な調査方法及び保全再生手法については, 別途, ワーキンググループをそれぞれ設け引き続き詳細検討を行うこととなった。また, 今年度行うのは現状把握のための調査であり, モニタリング手法については今年度の調査の結果も踏まえて, 次回部会で検討することとなった。

[文責 近畿地区自然保護事務所]